

平成31年3月

I. ブロック内の水道事業の現状と課題

1. 現状

- ・ 組織統合等に伴う人員削減により、少人数で多数の業務を抱えている団体が多い状況。
- ・ 老朽化が進んだ施設等について、今後更新が必要。また、老朽化に伴う漏水対策や修繕対応に伴う業務が増加している。
- ・ 会計については、ブロック内の全団体において公営企業会計が導入されている。
- ・ 隣接する団体間での水の融通や、事務の共同処理を実施している。
- ・ ブロック内の団体の給水区域は広範に渡っており、かつ、各事業体の中でも山間部と平野部が混在している。
- ・ ブロック全体の浄水場施設能力は 289,289 m³/日、一日最大給水量は 183,130 m³/日となっている。

2. 課題

- ・ 小規模団体においては数名での業務体制となっている等、職員数が不足しており、これまで培われてきた、職員の技術継承が困難となりつつあることから、アウトソーシングや体制の見直し等による対応が必要。
- ・ 個々の団体において、業務委託等を必要に応じ導入し、課題解決に取り組んでいるが、一定の規模を有する団体でなければ業務委託による経費削減効果を出すことが難しい。一方で、団体ごとの背景に差異があることから、共同発注等については今後慎重な検討が必要。
- ・ 人口減少や節水機器の導入に伴い、給水収益については今後も減少していくことが予想されており、適切な規模での資産管理や収益確保に向けた料金改定が必要。

○業務の効率化

○施設投資の最適化

○技術力の確保

等々 広域連携による課題への対応策を検討

Ⅱ. これまでの検討経過

年月	内容	詳細
平成 29 年 3 月 23 日	第 1 回ブロック検討会の開催	・ 設置要綱の策定について検討 ・ アセットマネジメントの実施状況等を確認
平成 30 年 3 月 26 日	第 2 回ブロック検討会の開催	・ アセットマネジメントの実施状況等を確認、施設台帳の整備状況を確認 ・ 講演「水道事業の基盤強化と広域化の効果」
平成 30 年 7 月 24 日	ブロック検討会各部会（経営部会、技術部会）の開催	・ 現状、課題の細分化、共有（部会ごとに実施）
平成 30 年 10 月 15 日	ブロック検討会各部会（経営部会、技術部会）の開催	（経営部会） ・ 共同委託の可能性の検討 （技術部会） ・ 施設の最適配置の検討
平成 31 年 2 月 8 日	ブロック検討会各部会（経営部会、技術部会）の開催	（経営部会） ・ 現状と課題の整理 （技術部会） ・ 施設の最適配置の検討 ・ 共同購入の検討

- 経営部会、技術部会において、それぞれ広域連携の可能性について議論を重ねているところ。
- 広域連携の手法については、事業者間で施設整備水準や水道料金等、これまでの運営状況に差異があることから、今後も実情に応じ、できることから広域連携の手法を検討していく。

※ （参考）ブロック内の人口推移の見通し

単位：人

	2019 年	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年
遠野市	26,780	26,328	24,506	22,689	20,958	19,235	17,498
一関市	117,515	114,777	107,577	100,322	93,189	85,744	78,013
奥州市	117,360	113,368	106,623	99,778	92,975	85,931	78,750
西和賀町	5,680	5,181	4,509	3,909	3,366	2,883	2,431
金ヶ崎町	15,687	15,327	14,638	13,894	13,148	12,349	11,474
平泉町	7,640	7,320	6,730	6,159	5,607	5,045	4,483
岩手中部 水道企業団	221,874	216,933	208,572	199,374	189,448	178,618	167,181

※ 2020 年以降の数値は国立社会保障・人口問題研究所（2018 年 3 月）のデータによる。

※ 岩手中部水道企業団の数値は、北上市、花巻市、紫波町の数値の合計値。